

# 展示づくりの 舞台裏

## — 民俗展示と船 —

2024.

4.20 **土**

入場無料

14:00～16:00  
(開場 13:30)

※ 席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。

※ 会場内は、空調の影響で寒くなる場合があります。

博物館の展示は、どのようにつくられるのでしょうか？

実物・模型・複製に、物量展示・テーマ展示・ストーリー展示などの見せ方、演出のために用いる演具・照明・音響…。「何を・どう配置して・どう演出して・何を伝えるか」には、多様な手法があります。例えば、おきみゆーの民俗部門展示室や進貢船模型は、どうつくられたのでしょうか？その舞台裏について解説します。

博物館の仕事に興味がある方、学芸員を目指す方、そして博物館のファンの皆さんに最適な内容です。ぜひお越しください。



【講師】板井 英伸 (いたい ひでのぶ)

(一財) 沖縄美ら島財団海洋公園管理センター企画運営課調査展示係で海洋文化館やおきなわ郷土村の資料調査・展示管理を担当。東京外国語大学、琉球大学で民族学、文化人類学を専攻。造船・航海などの海事技術を中心に、島嶼地域の文化について研究。2004～2007年、沖縄県立博物館・

美術館の展示工事で民俗資料や進貢船模型などの海事資料を担当。2010～2013年、海洋文化館のリニューアル工事でもサバニなど沖縄の船に関する展示監修を担当。

講師

板井 英伸 氏

(一般財団法人 沖縄美ら島財団  
海洋公園管理センター 企画運営課調査展示係)

会場

沖縄県立博物館・美術館  
3F 講堂

受付

当日先着 (定員 200名)

お問合せ

098-941-8200

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

あなたの沖縄に出会う